

## 7月定例教育委員会 議事録要旨

日時：令和2年7月17日 13:30開会

場所：中津市役所4階研修室

出席者：栗田教育長、中島委員、自覚委員、横松委員

大下教育次長、大江教育総務課長、小畑学校教育課長、岩丸社会教育課長、  
末吉体育・給食課長、磯貝小幡記念図書館長、山本生涯学習推進室長、  
高崎歴史博物館長、木村教育総務課主幹

### ○7月教育委員会報告

栗田教育長から、7月時における教育委員会事務局の動き等報告。

### ○令和2年第2回定例市議会一般質問について

大下次長から、答弁内容について報告。

- ・大分県の学力定着状況調査とは、何年も続いている調査で、県が行っているのか。  
→大分県の学力定着状況調査はずっと行っている調査で、小学校5年生と中学校2年生を対象に行っています。今年度、全国は中止になりましたが、県の調査は市町村ごとで実施判断となりましたので、授業改善や生活指導等に活用する方針で取り組みました。
- ・学校給食こそ自校方式へという質問の意図は。  
→地産地消、地域産の食材、地元で取れたものを地元で作り、それがまた子どもたちの食育にも、与える影響は大きいというような御質問だと思います。自校式のいいところもありますが、中津の場合は共同調理場方式でないと、なかなかうまくいかないというような答弁をしています。

### ○その他

教育委員から

- ・夏休みの短縮により、子どもや先生方、教育委員会の担当職員の負担などデメリットや問題があるか。  
→水泳の取りやめや楽しみにしていた夏休みが少なくなり、また、子ども会のキャンプなどできない状況であると思います。また、教職員の働き方改革という事で、今年度はお盆の週は完全閉庁日としました。先生方は8日から16日までは完全に閉庁で、学校には出ずに休まれますので、ここでしっかりリフレッシュをしていただくと考えているところです。その間の生徒指導等につきましては、教育委員会でしっかり対応するという事を考えています。
- ・避難所に使った学校の数、防災危機管理課と学校との避難所に関わる連携は。  
→旧下毛について、山国は山国中学校と三郷小学校、耶馬溪は下郷小学校、三光は真坂小学校、秣小学校、旧中津については通常であれば南部、北部は公民館を使いますが、公民館の位置が低いので、南部小学校、北部小学校、城北中学校の校舎の上のほうの階を避難所として学校を使っています。また、防災危機管理課から災害に合わせて避難所開設の指示が来て、そして教育委員会から学校にも連絡をしますし、防災危機管理課から学校にも連絡する、両方から連絡するという形を取っています。避難所として開設するときのために防災危機管理課で予備の鍵を預かり、また、使用可能エリア決めもしていきながら、住民の方々がすぐに避難できるような形で体制を取っています。

【裏面につづく】

高崎歴史博物館長から、「なかはく手帳」の取り組み、中津歴史博物館の「戦争の記憶」展の紹介。

14:37 閉会